年間授業計画 様式例

小平　高等学校 令和８年度（3学年用） 教科　外国語　科目 スペイン語

教　科：外国語　　科　目：スペイン語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 総合スペイン語コース初級 三訂版 Entre Amigos ）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】	スペイン語の音声、語彙、文法事項（性数一致や時制等）を体系的に理解し、日常的な事柄について適切に表現できる基礎的な運用力を養う。 コミュニケーションを維持するための言語的・非言語的手段（ジェスチャーや言い換え）を習得し、実践的な発信力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	自分の属性や内面（心身の状態）、過去の経験をスペイン語で構造化し、目的に応じて効果的に伝える構成力を養う。メタ認知的視点から自身の学習過程を客観的に分析し、状況に応じた適切な学習戦略を自律的に選択・実行する力を育む。
【学びに向かう力、人間性等】	新しい言語による自己表現を肯定的に捉え、ミスを恐れず積極的に他者と関わろうとする態度を養う。 ペアやグループでの協調学習を通じ、互いの成長を認め合い、多様な価値観を尊重する社会的態度を育成する。

科目　スペイン語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現在形（SER/TENER/ESTAR）、GUSTAR型動詞、点過去・線過去などの基本文法を使い分け、自己紹介から思い出の語りまで幅広いトピックを扱えるようになる。 各期（第1期～第4期）のタスクにおいて、視覚資料やIT端末を効果的に活用しながら、聴衆に伝わるプレゼンテーションを行う技能を習得する。	対話（ロールプレイ）において、相手の反応や状況（レストラン、誘い、診察等）を判断し、適切な語彙や表現を選択して合意形成や問題解決を行う。 抽象的な形容詞や比較級、接続詞を用いて、人物描写や趣味、出来事の背景を論理的かつ多層的に表現する力を養う。	目標言語習得に伴う不安やもどかしさを情動的な戦略によって前向きに制御し、学習を継続する自己効力感を確立する。クラスを安心できる学習コミュニティとして再定義し、自律的な学習者としてのアイデンティティを形成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	自己紹介と誰かの紹介 【知識・技能】 スペイン語のアルファベット、SER/TENER/ESTAR動詞、名詞・形容詞の性数一致の規則を理解し、自己や他者の紹介に必要な表現を習得する。 【思考・判断・表現】 自分や身近な人の特徴（属性、性格、外見）を整理し、聞き手に伝わりやすいプレゼンテーションの構成を考える。 【学びに向かう力・人間性】 未知の言語を発することへの心理的障壁を下げ、間違いを恐れず積極的に挨拶や交流を試みる。	挨拶、アルファベット 国籍・出身（SER） 職業・性数一致 家族・年齢（TENER） 外見・性格 場所表現（ESTAR） 教科書、教師のPC、生徒の個人端末を使用	【知識・技能】性数一致の規則に従って正しく文を構成できる。 【思考・判断・表現】視覚資料を活用し、情報の優先順位を判断して発表できる。 【学びに向かう力・人間性】相互的な挨拶や頷きを通じて、教室内の人間関係構築に寄与しようとする。	○	○	○	8
	日常生活に関する話題について、動詞の活用や基本的な文法を用いて、予定や習慣、やり取りを表現できるようにする。 【知識・技能】 規則動詞・不規則動詞（IR, SABER, CONOCER）や未来表現（ir a + 不定詞）、直接目的語代名詞などの基本的な文法と、日常生活に関する語彙を理解し、適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 日常生活や予定、買い物などの具体的な場面に応じて、適切な表現を選択し、相手とやり取りしたり、自分の考えを伝えたりすることができる。 【学びに向かう力・人間性】 相手との対話を継続しようとする態度を持ち、役割演技などの活動に積極的に参加しながら、協働してコミュニケーションを行おうとする。	規則動詞（-ar, -er, -ir） 不規則動詞（IR, SABER, CONOCER） 未来表現（ir a + 不定詞） 直接目的語代名詞 比較級 語彙：趣味、時間、曜日、衣類、住居、天候、料理など 教科書、教師のPC、生徒の個人端末を使用	【知識・技能】 規則動詞・不規則動詞（IR, SABER, CONOCER）や未来表現（ir a + 不定詞）、直接目的語代名詞などの文法事項および日常生活に関する語彙を理解し、文の中で適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 日常生活や買い物、予定の調整などの場面において、状況や相手に応じて表現を選択し、自分の考えや意図を伝えたり、やり取りを行ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロールプレイや対話活動に積極的に参加し、相手とのコミュニケーションを継続しようとするとともに、協働して課題を解決しようとする。	○	○	○	2
				○	○	○	6

2学期	心と体の声を伝えよう 【知識・技能】 GUSTAR型動詞やDOLER、否定表現などの文法事項と、感情・体調・趣味に関する語彙を理解し、適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 自分の好みや気持ち、体調などについて、状況に応じて表現を選択し、相手に分かりやすく伝えたり、対話を行ったりすることができる。 【学びに向かう力・人間性】 自分や他者の気持ちや状態に関心を持ち、相手に配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	GUSTAR型動詞 DOLER 否定表現 感嘆文 語彙：趣味、スポーツ、体の部位、健康、感情 教科書、教師のPC、生徒の個人端末を使用	【知識・技能】 GUSTAR型動詞やDOLER、否定表現などの文法事項および感情・体調・趣味に関する語彙を理解し、適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 自分の好みや感情、体調などについて、状況に応じて適切な表現を選択し、相手に分かりやすく伝えたり、対話を行ったりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や他者の状態や気持ちに関心を持ち、相手に配慮しながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	○	○	○	6
3学期	【知識・技能】 点過去・線過去の用法や時制の使い分け、過去の出来事に関する語彙を理解し、適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 過去の出来事や経験について、時系列や状況に応じて時制を使い分けながら、まとまりのある内容で表現することができる。 【学びに向かう力・人間性】 自分の経験や成長を振り返り、他者と共有しようとする態度を持ち、互いの発表を尊重しながら学び合おうとする。	点過去（規則・不規則） 線過去 時制の使い分け 接続詞（cuando, entonces など） 語彙：旅行、出来事、感情、時間表現 教科書、教師のPC、生徒の個人端末を使用	【知識・技能】 点過去・線過去の用法や時制の使い分け、過去の出来事に関する語彙を理解し、適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 過去の出来事や経験について、時系列や状況に応じて時制を使い分けながら、まとまりのある内容で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経験や成長を振り返り、それを他者と共有しようとするとともに、互いの発表を尊重しながら学び合おうとする。	○	○	○	8
							合計 30